

愛ちゃん

社協だより

NO.82

2021-10月号

発行 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会
TEL.0267-56-1825 有線4091
FAX.0267-56-3815

夏ボラ
2021

施設利用者の皆様へ
新型コロナウイルス感染症の予防のため
マスクを装着し、
食後は手を洗ってください。
お願い致します。



夏休みの間に

ボランティア体験をしよう!

「町や福祉のために、役に立ちたい!」と、たくさんの方の生徒のみなさんが「夏ボラ2021」に応募してくださいました。この夏、ステキなボランティア体験はできたでしょうか?

楽しい思い出が
できました!

今月の記事

「夏ボラ2021」報告	2・3
立科発 地域の活動紹介します	4
「ただいま」だより	5
たてしなふれ愛園だより	6
赤い羽根共同募金ご協力のおかげ その他	7
お知らせ	8

「愛ちゃん」の発行には
「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。



お話をしながら交流を楽しみました。

おいしいさん、おばあさんと交流しているいろいろな事を知る事ができました。自分から質問をしたり、コミュニケーションを大切にして楽しく話せました。
(中学3年生)

おむすびサロン

老人福祉センターで毎週金曜日に開催しています。週代わりの講座やおしゃべりを楽しんでいます。



後半は、町で活躍されているボランティア団体の「お話バスケット」さんに読み聞かせをしていただきました。



誰かのために何かをするということを体験し、将来に繋がりたいと思い参加しました。最初はすごく緊張したけれど、みなさんとお話ができ、自分もとても楽しかったです。いつも友達と話す内容とは違う話で、たくさん話ができてよかったです。

長い夏休みの中、良い経験ができました。
(中学1年生)

ボランティアを通して素敵な体験ができました。(中学3年生)

とても楽しかったと家に帰って教えてくれました。良い経験となりました。(保護者より)



町の民家で高齢者の皆さんたちとお昼ご飯をつくり、おしゃべりしたり、交流を楽しんでいます。



ボランティアに興味があり、今回の企画を利用してチャレンジしました。

たくさんお話したい、と思っていましたが、なかなか積極的に話すことができませんでした。でも、戦時中のお話や、長野県のことをたくさん知ることができました。

地域の方との関わり合いが地域の協力、つながりになっていくことを実感しました。自分の課題もたくさん見つかったので、今後にいかしたいです。
(中学3年生)

まちの茶の間「たぐいま」



3日間で6名のボランティアさんに参加していただきました。

社会福祉協議会では、ボランティア活動のきっかけづくり、町内の学校を通じて生徒の皆さんたちに呼びかけをし、毎年「夏ボラ」を開催しています。



夏ボラ 2021 報告

今年は町内にある介護サービス事業者(3事業所)と障がい福祉サービス事業者(2事業所)、及び社会福祉協議会主催の活動で募集しました。

ボランティア希望者は、保護者を含め75名という大勢の方からのお申込みをいただきました。ボランティアに興味を持っている方が立科にはこんなにたくさんいるのだと、職員皆で驚ろき喜びました。

受け入れ準備も整い、当日を皆さん楽しみにしてくださっていましたが、新型コロナウイルスの感染状況が急激に拡大したことで、残念ながら一部が中止となってしまいました。

なお、国道142号線ごみ拾いは今年度中に開催予定です。お気軽にご参加ください。



就労継続支援B型

カラーズ



「障がいの重い・軽い」を問わず、利用者さん個々の魅力として個別に合った支援をしています。

さらに、利用者さんの将来の夢・支援の目標を明確にして、作業を通して楽しく過ごせる場所を提供しています。

ボランティアのみなさんが自分から進んで利用者に関わり、楽しい時間を過ごす事ができました。作業においても意欲的に行っていました。
(受け入れ事業所より)



みなさんと一緒に作業や交流などができて楽しかったです。またボランティアがあれば行きたいと思います。
(高校2年生)

感染防止対策をしながら、実施できたボランティアもあります。

ゆったりとお茶のみをしながら交流をしたり、一緒に食事を作ったり、作業をしたり...

皆さんもはじめは緊張している様子でしたが、少しずつ自然に話をしたり、笑顔も増えました。

町区

ふれあいネットワークの会

町区ふれあいネットワークの会は、毎月1回（1・2月は除く）コミュニティセンターでお茶会を開催しています。

手づくなをしたり、マレットゴルフを行ったりとその内容は様々です。

昨年の4、5月はコロナ禍のため、活動を休止しました。6月からの活動もどうしようか・・・悩みましたが、近所の人の「家にいるだけ、何もすることがない」との話を思い出し、「これではいかん！」と活動再開に踏み切りました。

感染予防対策を行い、お茶やお菓子は個包装のもので対応しています。

コロナ禍もあって、会として活動が続けられるか・・・悩んだ時期もありましたが「続けてほしい」との声が多く、めでたく存続となりました。

月1回でも、こうやっていつもの仲間と顔を合わせる機会は、参加者の皆さんにとって大切な時間のようです。「野菜採れてる？」「ワクチン打った？」「こんな近況を報告する皆さんの顔は、マスク越しでも笑顔だということわかります。



立科発

地域の活動紹介します

—今回は町区・大城区のご紹介—

大城区

ふれあいネットの会

大城ふれあいネットの会は、コロナ禍のため活動内容を変更しました。

集うことが難しいなら・・・密にならずにできる活動をしよう！と今年度より「ふれあい散歩」を行っています。

4・5・6月は春のふれあい散歩、9・10・11月は秋のふれあい散歩と銘打って、毎週木曜日団地の中を歩いていきます。区内でチラシを回覧してもらい、区の皆さんに幅広く参加を呼び掛けてたことで、ネットの会員さん以外の方も参加してくださるようになったそうです。

“このまちで いつまでも安心してくらしつづけるために”

チラシの一番上にはこの言葉が書かれています。お庭を眺めながら「この花綺麗ね」「うちの庭にも植えたいわ」とのんびり和やかに散歩を楽しむ皆さんを見ながら、足も、心も健康であることが地域づくりの第一歩なのだ、と感じました。

内藤 明香





「ただいま!」「おかえり!」 って言いあえる場所をめざしています。

猛暑と長雨が交互に押し寄せる夏でしたが、利用者の皆さん、無事に乗り越える事ができました。

「ただいま」では、季節の行事や昼食メニューを自分たちで決めています。7月は七夕飾りでした。それぞれ短冊に願いを書き、部屋の中央に飾りました。中にはさっそく叶った願いもありました!お盆も終わり、秋風のなか利用者さんから、こんなおしゃべりが聞こえてきました。「そろそろきのこの季節だね」また今年もおはぎを作りたいね。

「COVID-19」が猛威をふるっていますが、感染予防しながら毎回おだやかに過ごしています。「ちょびつと」お立ち寄りください。 飯塚 千鶴子

ひとつにしぼるの
難しいねえ



まちの茶の間「ただいま」へ

高等学校教員の飯塚先生が 「社会体験研修」で来られました。



高等学校教員 飯塚先生

研修を終えた飯塚先生に
感想をお聞きました!

自分が育った町で、高齢者の居場所作りの取り組みをしているという話を聞き、研修を通して自分自身の見識を広げるきっかけにしたいと考え、まちの茶の間「ただいま」での社会体験を希望しました。

体験を通して、コミュニケーションの場の大切さを感じました。週にいちど、「ただいま」に集まり過ごす事をとても楽しみにし、大切にされていることを利用者さんたちとの話しを通して、強く伝わってきました。

それは高齢者だけでなく、学生にも当てはまる部分で、あり合わせの空間である教室だけでなく、人が作りあける居場所も大切だと感じました。

女学校時代の事を
昨日の出来事のように
お話してくださ
いました。



また、戦時中の体験をお話してくださり、様々な経験や生きる知恵に触れる事が出来て、多くを学ぶことができました。生きる力、生きる美しさが伝わる、貴重な経験でした。

今日来られて
ホントに良かった～



たてしなふれ愛園だより

ふれ愛園では、社会参加のための能力向上や工賃アップを目指して、様々な作業を行っております。

その中から今回は屋外で作業している外作業班の紹介をします。

農作業のお手伝いを
してきました！



▲農作業風景



大きくなったよ！



外作業班では春からはジャガイモ、玉ねぎなど十数種類の農作物を栽培し、秋からは新づくりなどの仕事をしています。また委託された農作業もいくつかあり、それぞれの現場に出かけて除草や収穫などの作業を行っています。

今年度は「立科町振興公社たてしな屋」様より作業の依頼がありました。内容は芽が出てきたばかりの落花生周りの除草作業です。

国産で安心、安全な食にこだわりの「立科産の自然食品」を皆に届けたい。そんな思いを強く持つておられるたてしな屋さんが、手間をかけてでも人の手による安全な作物づくりと、農業と福祉の連携した取り組みということで、ふれ愛園に声を掛けていただきました。

作業をさせていただけることに感謝し、外作業班全員でいざ畑に出陣。落花生に傷を付けないように丁寧に草を取っていききました。除草作業は慣れたものですが、しゃがみながらの仕事は足、腰に負担が大きく、時々伸びをして疲労を緩和しながら協力して進めていき作業完了。皆で頑張りました。

武重 喜人

腰が痛くても
みんなで頑張りました



上記作業の他にニンニクの収穫、人参畑の除草などお手伝いさせていただきました。
地域の方々のご理解とご協力が利用者さんの活力となっております。

おやつ、おつまみ
にもなる落花生。
年末には、たてしな屋さんの「地豆」を食べながら年越しする昔ながらの団らんなんていうのはいかがでしょうか。



自分の町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金ご協力をお願い



町民の皆さまには、募金活動への深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

令和2年度に皆さまからお寄せいただいた立科町の募金の総額は1,838,882円になりました。

10月1日から
全国一斉に赤い羽根
共同募金運動が
スタートします。



募金の多くは、立科町で使われており、町内の子どもたちやお年寄り、障がいのある方、困っていて支援を必要とする方、地域をよくする活動のために役立てられています。

また、長野県全体でも活用されています。福祉施設や福祉団体、コロナの状況下でも、「つながりをたやさない」ための活動を行うボランティア団体の支援、災害時の被災地支援、自治会等の防災備品整備の資金などに使われています。今年度は、山部区自主防災部と姥ヶ懐区が赤い羽根共同募金で、発電機や投光器、テントなどの防災物品の整備を行っています。

今年も赤い羽根共同募金へのご協力をよろしくお願いいたします。



立科町で行われている赤い羽根共同募金活動

児童・青少年への事業

町内の学校での福祉的な活動や学習への助成金

- 立科小学校・立科中学校
- 夢科高等学校の福祉活動助成金



▲小学校での福祉活動



▲障がい者スポーツ大会

障がい児・者の方々への事業

障がい者やその家族が交流を深める活動

- 障がい者交流研修
(希望の旅、障がい者スポーツ大会など)

高齢者の方々への事業

独り暮らし高齢者の見守り、高齢者同士の交流や生きがいづくり

- お達者弁当
- おむすびサロン



▲お達者弁当
調理ボランティア

令和3年度

日赤活動資金収納結果報告

実績額

1,297,700円 (1,389件分)

ご協力、誠にありがとうございました。

集められた活動資金は、被災地での救護活動や救援物資配布のために使われます。新型コロナウイルス感染症対策にも充てられています。

また、一部は日赤立科町分区にも還元され、日赤奉仕団の活動費や災害時用の備品整備などに活用されます。



ハートラちゃん
©日本赤十字社

支援を必要とする方々、地域住民の方々への事業

誰でも安心して暮らせる地域づくりや、住民相互の支え合い活動の推進

- 福祉自動車、車いすなどの貸し出し
- ふれ愛むら
- 福祉リサイクルバザー
- 社協報「愛ちゃん」を発行
- 紙の「門松」配布
- ボランティア啓発・育成事業
- 生活困窮者への食糧等提供事業

▲ボランティア育成事業
国産143号の赤い羽根共同募金



職員募集のお知らせ (令和4年4月1日採用)

一緒に働く仲間を
お待ちしております!



■ 採用予定 社協事務局職員…若干名

■ 採用条件

- (1) 心身共に健全で福祉に理解と情熱のある人
- (2) 資格等
 - ・普通自動車運転免許証取得者
 - ・福祉関係の資格あれば尚可

■ 申込期間 10月11日(月)～10月29日(金)

※申込等詳しくは社会福祉協議会事務局へお問い合わせください。

おむすびサロンからの お知らせです。

毎週金曜日 11時から12時に開催しています。

10月 1日	血压チェック
10月 8日	レクリエーション・音楽の会
10月15日	お休み
10月22日	お抹茶を楽しむ会
10月29日	お話の会
11月 5日	血压チェック
11月12日	歌の会
11月19日	お抹茶を楽しむ会
11月26日	読み聞かせの会

参加は無料です!
お気軽に
お越しください。



開催中止 のお知らせ



希望の旅
たてしなふれ愛むら
福祉リサイクルバザー

新型コロナウイルス感染が変異株により更に拡大し、収束の兆しが全く見えず状況は悪化するばかりで、外出の自粛、催し物開催の縮小、延期、中止が余儀なくされています。こうした状況から、今年度の「希望の旅」「たてしなふれ愛むら」「福祉リサイクルバザー」は、感染拡大防止のため開催中止といたします。

昨年に続いての中止で誠に残念ではございますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ちょっと一息 頭の体操 第7回 立科町クイズ

第1問

立科町の2021年に分かる最新の高齢者人口(65歳以上)は?



長野県は
長寿県ですね!

- ① 1000人
- ② 2440人

第2問

立科町で今年の7月に誕生した赤ちゃんは何人でしょう?



もっとお友達が
増えるといいね!

- ① 2人
- ② 10人

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の答え 第1問「①高い」 第2問「①254号」

官製はがきに ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④クイズの答え

⑤今号の社協だよりのご意見・ご感想をご記入のうえ、立科町社会福祉協議会にお送りください。



抽選で25名様に
素敵なプレゼントを
お贈りします!

「愛ちゃん」は
町のテレワーカーが
携わっています。



清水 舞



鈴木裕見子



市川摩季



滝澤弘恵

清水 舞さんが新しいメンバーになりました。
皆様に愛される「愛ちゃん」を目指して頑張ります!
よろしくお祈りします。